

# じゃっと新聞

No.51号

定期総会のご報告

発行日：2008.7.20

発行人：小幡 順子

発行所：じゃっと事務局

〒895-0054 鹿児島県薩摩川内市神田町

11-20 若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail [jaddo@po2.synapse.ne.jp](mailto:jaddo@po2.synapse.ne.jp)

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>

第51号ごあいさつ

特定非営利活動法人じゃっと 理事長 小幡 順子  
定期総会報告と「多国籍合宿」に参加して



さとう椰子一家の女の子(コーン島)

5月21日NPO「じゃっと」定例総会が行なわれ、事務局原案通り承認されました。昨年に引き続き、ビエンチャン特別市地区とラオス南部コーン島を中心に学校保健活動を充実させていく予定です。

また、昨年度より実施している学生のラオス派遣についても続けて行なう事と承認頂きました。選考については、8月から関係機関と連絡をとり、参加者を決定したいと考えています。

さて、水田には青々とした稲が生る暑い夏がやってきました。「お米」と言うと「水稻」を思い起こす私たち日本人です。ラオスでも川に近い場所では水稻栽培が主流ですが、山岳地に行くと「陸稲」が主流となります。そのように、暮らしているところが違っておのずと物事の常識や感じ方、考え方が違ってきます。そのような違いを感じる会、それが鹿児島大学留学生センター主催の「多国籍合宿」です。

その活動の一つである「分科会」にじゃっとも主催者として参加いたしました。テーマは「ちがいのちがいがいい」。例えば「日本人はうるち米を食べ、ラオス人はもち米を食べる」、このちがいはあってよい違いか、あるいはない方がよい違いか？このような例題を9つ準備し、参加の大学生や社会人の皆さんにグループ討論してもらいました。これまでも、様々な会で同じテーマでグループ討論をしてきましたが、今回は「多国籍」ということで白熱した討論が行なわれ、それを聞いているじゃっとスタッフも、個人としての感じ方の違いに驚いたり、国や地域の違いを再確認したりすることでした。

これからも、このような広報活動を続けていく予定です。自分の学校や職場などで、「ちがいのちがいがいい」という方は、じゃっと事務局までお問い合わせください。

# 第16回じゃっと定期総会の報告

平成20年5月21日、薩摩川内市のすこやかふれあいプラザにて第16回じゃっと定期総会を行いました。議決権を持つ正社員のうち、過半数の出席・委任をもって協議の結果、承認されましたので、ここに報告いたします。

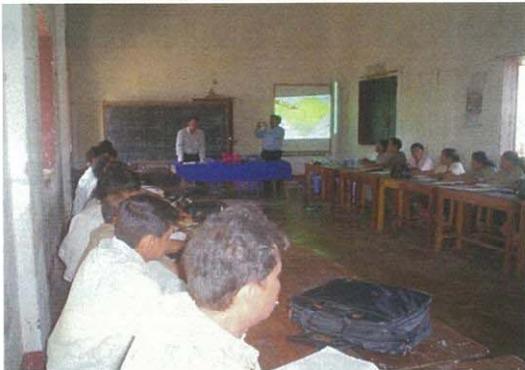


【小幡理事長による事業報告】



【会に出席の皆様】

## ★報告写真より



2007年12月コーン島：校長、村長向け保健セミナー

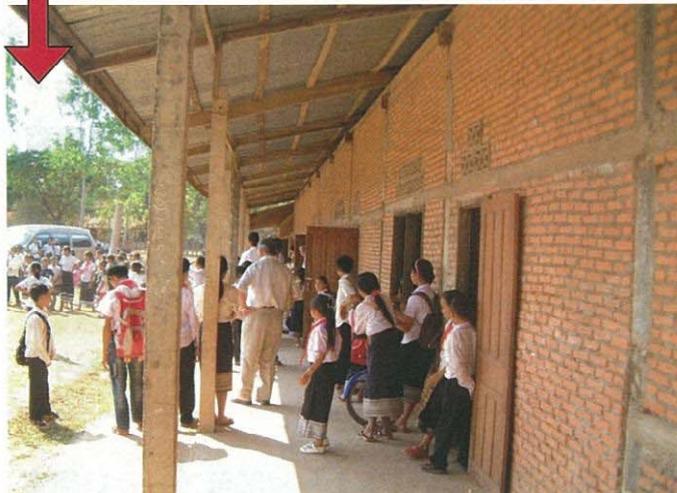


2007年6月ドンロンカン島：水道ポンプ、トイレ完成



2006年のタディンデン小学校  
建設資材をじゃっとが援助  
村人が労働力を提供し  
れんが造りの校舎に

2007年12月



ツアー参加の協力隊OBによる水道ポンプ修理の指導  
ナテ小学校 2007年12月



2007年度  
支援対象  
ドンロンカン  
小学校の  
子供たち

# 平成 19 年（2007 年）事業報告

自 2007 年 4 月～至 2008 年 3 月 31 日

今年度は、初めて高校生、大学生の視察ツアー派遣を行った。これにより、派遣学生が途上国へ心を寄せてくれ、周りの若者が世界の動きに関心を持ち、地域の中で“じゃっど”の認知度が上がることを期待している。

薩摩川内市においては、絵本部が活動を活発に行った。ホームページの他にブログを立ち上げた。“じゃっど”への小学校からの講義依頼は、総合学習の時間の削減により、減少することが懸念される。

## 1. 国内の活動

### ① 絵本部：

ラオスの子ども達に「絵本を届ける運動」を行った。（社団法人「シャンティ国際ボランティア会」より、ラオス語訳のシールが付いた日本の絵本セットを購入し、会員をはじめ活動を理解し協力して下さる方々に作業を手伝って頂き、ラオスへと送るものである）19 年度はラオスへの興味をもっていたが、じゃっど活動をひろく知っていただくために、小学校、中学校、高等学校の生徒さん達に活動の趣旨を説明し、多くの方から協力を得た。シールを貼る前に絵本を楽しんでいただき、ボランティアや国際協力について意識する良い機会となっている。

#### ◆ ご協力いただいた団体

薩摩川内市国際交流センター「キッズえいご」、中央公民館「おはなしひろば」、川内商工高等学校ボランティア部、長島町立川床中学校、薩摩川内市立寄田小学校、若松記念病院

### ② バザー部：

じゃっどスタディツアー時に物品を仕入れ、事務局で販売している。今年度より委託販売として、美容室「キューア」に加えギャラリー「道楽」（めん道楽）に置かせて頂くようになった。各種イベント等に積極的に参加し、ラオス雑貨を販売した。販売時はパネルを掲示し、ラオスの現状とじゃっど活動の広報を行った。

#### ◆ 参加したイベント

- ・ 薩摩川内市ぎおん祭り（7 月）
- ・ パイロットクラブチャリティパーティ（9 月）
- ・ 純心大学祭（10 月）
- ・ 薩摩川内市きやんせふるさとフェスタ（3 月）

### ③ 開発部：

#### ◆ 理事による講演、会合への出席

- ・ 鹿児島大学法文学部「国際交流のすすめ」（6 月）
- ・ 鹿児島県 NPO 意見交換会（12 月）
- ・ 南さつま市加世田中学校 1 年「働く人の話を聞く会」（1 月）

※加世田中学校 PTA の皆さんは、講演と前後して文房具を集め“じゃっど”へ届けられた。これを派遣学生がツアー時に持参、ラオスの小学生へ渡した。南さつま市で机いす募金活動もしていただいた。

- ・ 薩摩川内市川内小学校「じゃっど活動について」（1 月）

### ④ 広報部：

- ・ じゃっど新聞 47・48・49・50 号を発行。各号は、じゃっどのホームページ及び新設したブログからもダウンロードして読めるようになっている。
- ・ じゃっどブログを開設。直近の話題について、こまめな更新ができるようになった。
- ・ 活動概要をパワーポイントで作成し、閲覧用に事務所に設置した。  
この資料はホームページ・ブログからもダウンロードして閲覧できる。
- ・ 「NPO じゃっどパネル展」の開催一宮崎銀行川内支店で 3 月 10 日～3 月 31 日まで実施。  
（終了後、若松記念病院内に展示→その後、薩摩川内市国際交流協会に展示）

#### ◆じゃっど事務局訪問

- ・鹿児島県立川内商工高等学校ボランティア部
- ・長島町立川床中学校（総合的な学習の時間・ボランティアを選択の生徒さん）

NPO じゃっどの活動概要やラオスの現状などを説明し、「ボランティアとは」「国際援助とは」について一緒に考える時間を持った。

（両校ともに「絵本を送る運動」へのご協力を頂いた。川内商工高等学校からは、学園祭で集めた募金を「机いす募金」に寄付して頂いた）

## 2. ラオスでの活動

### 指導視察（スーパービジョン）

対象校；ヴィエンチャン首都圏；ナテ（Nate）タディンデン（Thadindeng）ノンケン（Nongkeng）3校  
チャンパサック県コーン島；ドンロンカン（Don lonkan）本校、分校、中学校3校

ソムチット医師とコンサップ医師が、ボランティア医師、指導教師などとともに、ヴィエンチャン首都圏での対象の学校を訪問し、前年度のセミナーを受講した教師が、衛生教育を行っているのか、子供たちへ伝わっているか、学校の清掃がなされているか、トイレがきれいに使用されているか、トイレの水が十分に確保できているかを視察した。不十分な箇所は、何が問題かを話し合い解決への糸口を探した。教師からの質問に答えた。子供たちの健康診断に行き指導を行った。駆虫薬、牛乳、文房具を供与した。また、新たにコーン島に対象校を設けた。トイレにより鉤虫の感染率が減ることなどを話し、学校にトイレ建設が行われた。また隣接する保健センターのトイレと井戸設置に協力した。この地域の小学校教師を対象にセミナーが開催された。新築のトイレと保健センターの視察、およびセミナー実施は、今年度の視察ツアー時にあわせて行われた。

### 教師対象のセミナー：12月25日（2007）

コーン島で、コーン島一帯の村長・校長・保健省職員を対象にセミナーを実施。参加者：35名

## 3. 視察ツアー

### ①じゃっどスタディツアー 2007年12月23日～30日

（※これに関連して—じゃっどスタディツアー学生枠希望者面接会 2007年10月14日

スタディツアー参加者オリエンテーション 2007年12月2日）

#### ・ Nate(ナテ)小学校

黒板5つ、水道設備、文房具・制服等を寄贈。スタディツアー時に水道ポンプとトイレの様子を視察。ポンプの調子があまり良くなかった為、ツアー参加の協力隊OBが修理箇所と方法を校長に指導した。

#### ・ Tha din deng(タディンデン)小学校

校舎修復に5万パーツ（約17万円）支援。黒板10個、机いす70セット、文房具・制服等を寄贈。

#### ・ コーン島地区一帯の小学校

教師対象セミナー参加の各学校にスポーツ用品（サッカーボール・バレーボール・セパタクロ）を寄贈。

#### ・ Don lon kan(ドンロンカン)小学校

文房具・制服等、スポーツ用品を寄贈。

#### ・ ドンロンカン地区保健センター

担架、医薬品を寄贈。トイレ・水道建設を支援。

### ②スタディツアー帰国報告会

2007年2月10日 於：薩摩川内市国際交流センター

# 平成 20 年（2008 年）事業計画

---

## 1. 国内活動

- ① 絵本部：じゃっど活動の広報、開発を兼ねて、また地域貢献への意識も持って行う。  
絵本の仕入れ元であるシャンティ国際ボランティア会（SVA）と、ツアー時の現地事務所訪問等、つながりを持っていく。
- ② バザー部：ツアー時に物品を仕入れ、各種イベントなどに積極的に参加し、広報活動とともにラオス雑貨販売する。「ボランティア」協力のひとつとして関心を集め、協力の裾野を広げていく窓口とする。
- ③ 開発部：昨年に引き続き、以下を行う。
  - ・鹿児島大学法学部にて講義「国際交流のすすめ」（決定）
  - ・鹿児島大学にて講義「ボランティア学」（決定）
  - ・県内の国際交流活動に積極的に参加
  - ・薩摩川内市の小中学校を中心に、スタディツアーに関連して事前講演（募金活動）と事業後の参加者（及び派遣学生）による講演活動を行う。
- ④ 広報部：じゃっど新聞の発行、ホームページ、ブログの更新  
パンフレットの作成、配布、ボランティアスタッフの募集 ほか

## 2. 国内事業

「ラオススタディーツアー」関連事業

2008 年 12 月下旬（平成 20 年 12 月 25 日～30 日ごろを予定）

- ・じゃっどを鹿児島県内でもっと知ってもらうためにスタディーツアーを企画、実施する。
- ・大学生・専門学校生・高校生を対象とする「学生枠」を設けて、参加費の一部をじゃっどが助成する。  
（※鹿児島県下より大学生 2 名、薩摩川内市の高校生 2 名を予定）
- ・ツアーに合わせて、ラオス国内の事業（研修等）の一部を行う。
- ・ツアーに前後して、市内の小中高を対象とする事前講演（募金活動）と事後報告会を行う。  
※薩摩川内市「元気塾」（総合的な学習の時間）
- ・ツアー終了後には「帰国報告会」を開催する。派遣学生は体験記を作文、スライド等で発表する。

「じゃっどパネル展」の巡回

薩摩川内市の民間（および公共）施設で、パネル展を実施する。

会員向け広報、サービス・・・じゃっどオリジナルグッズ（T シャツ等）の作成、頒布（有料）

現地の子供たちとのつながり

助成金等・・・薩摩川内市国際交流協会ネットワーク団体

鹿児島県および薩摩川内市の各種助成制度への応募

企業との連携・・・パネル展（地元企業）の共催、イオン鹿児島（レシート募金など）

### 3. ラオスでの事業の実施に関する事項

基本は、“じゃっど”活動の3本柱である、A：教師対象の健康教育、B：子供たちへの健康教育、健康診断  
C：学校施設の整備、の継続である。今年度の重点支援校は以下の学校とする。

#### ヴィエンチャン近郊

1. ナテ (Nate) 小学校・・・事業後視察、校舎周囲のフェンス設置を支援する。(牛ややぎ、その他動物の侵入を防ぐため)
2. タディンデン (Thadindeng) 小学校・・・事業後視察、水道設備、トイレ建設 (8戸分 2007年度計画分未着工)
3. ノンケン小学校職員室、トイレ建設 (2007年度計画分未着工)

#### チャンパサック県コーン島及びコーン島郡ドンロンカン地区

1. コーン島・・・昨年度教師対象セミナーを実施。事業後視察を行う。実務者レベルの研修セミナー実施。
2. ドンロンカン (Don Long Kang) 小学校・・・昨年度支援校。事業後視察を行う。
3. ドンロンカン地区保健センター・・・昨年度トイレ設置を支援。事業後視察を行う。

【2007年度 貸借対照表】

2008年3月31日現在

資産の部		負債と次年度活動準備金の部	
科目	金額	科目	金額
<b>I 資産の部</b>		<b>II 負債の部</b>	
1 流動資産の部		1 流動負債	
①現金	357,205	①未払い金	
②郵便預金	3,928,928	②前受け金	
③棚卸資産	109,319	③預かり金	
④未収入金			
⑤仮払金	320,833		
流動資産合計	4,716,285	流動負債合計	0
2. 固定資産		2 固定負債	0
		III 正味財産の部	4,716,285
		合計	4,716,285

#### 監査報告

2007年4月1日～2008年3月31日の期間のじゃっどの決算に関し、事業は適正に実施され、収支計算書

及び貸借対照表、諸帳簿は、会計原則に基づいて作成され、監査の結果、確かに相違ないと認めましたので

ここに報告します。

2008年5月14日 監事 安部良宣

## 会計 2007 年度収支決算書及び2008 年度収支予算書

### I 収入の部

科目		2007 年度決算	2008 年度予算
前期繰越収支差益	国内	3,169,559	4,395,452
	ラオス	529,075	320,833
会費・寄付金	年会費(2000 円×会員数)	360,000	400,000
	寄付金(個人)	1,202,944	600,000
	寄付金・賞金(団体)(※1)	1,540,569	0
	机いす募金	465,000	300,000
	助成金【薩摩川内市国際交流協会】	50,000	50,000
小計		3,618,513	1,350,000
事業費	普及・啓発活動事業(※2)	420,000	280,000
小計		420,000	280,000
その他	利息	4,762	4,000
	雑収入(※3)	58,455	50,000
	雑貨売上収入(※4)	232,700	200,000
小計		295,917	254,000
A 当期収入合計		4,334,430	1,884,000
B 収入合計		8,033,064	6,600,285

### II 支出の部

科目		2007 年度決算	2008 年度予算
事業費	学校保健事業(*1)	91,990	300,000
	学校設備充実事業(*2)	659,539	1,800,000
	研修事業(*3)	221,786	300,000
	普及・啓発事業(※2)	1,187,163	1,000,000
小計		2,160,478	3,400,000
管理費	人件費(※5)	483,200	500,000
	事務消耗品費(※6)	203,268	100,000
	印刷製本費(※7)	55,266	60,000
	会議費	2,138	2,000
	通信費(※8)	190,974	200,000
	NPO 連携(JANIC 年会費)	30,000	30,000
	雑費(※9)	30,518	50,000
小計		995,364	942,000
雑貨仕入れ		143,577	100,000
バザー管理費		17,360	20,000
予備費(活動準備金)		0	2,138,285
小計		160,937	2,258,285
C 当期支出合計		3,316,779	6,600,285
A-C 当期収支差益		1,017,651	-4,716,285
B-C 次期繰越収支差益		4,716,285	0

◆2007 年度収入の主な内訳

年会費:	2000 円 × 180 名	
個人寄付:	500,000 円	
	480,000 円	
※1 団体寄付:	500,000 円	九州電力生活協同組合
	1,000,000 円	MBC 賞・賞金
		川内商工ボランティア部、日置郵便局
机いす募金:	のべ 93 の個人、団体より寄付	
※2 普及・啓発事業について:	スタディツアー学生枠参加者の自己負担 1 名 70,000 円 × 6 名分	
※3 雑収入について:	南九州ペプシコーラ売上手数料(じゃっと自販機/若松記念病院、東郷ゆつたり館)	
※4 雑貨売上:	ぎおん祭、パイロットクラブチャリティパーティバザー、純心大学学園祭、きやんせふるさとフェスタ	

◆2007 年度支出の主な内訳(ラオス活動)

* 1 学校保健事業:	年十数回の調査・視察、事後観察、医療用品の購入・寄贈
* 2 学校設備充実事業:	小学校への教室建築資材、トイレ水道設備、黒板、スポーツ用品の寄贈
* 3 研修事業:	コーン島一帯の村長・校長・保健省職員を対象とする保健セミナー

◆2007 年度支出の主な内訳(日本国内)

※2 普及・啓発事業について:	スタディツアー学生枠参加者への旅費補助(2007 じゃっとスタディツアー)	
	1 名 100,000 円 × 6 名分 = 60,000 円	
	在ラオス SVA 事務所訪問費	43,000 円
	ツアー時の視察会合、会食費	95,313 円
	「絵本を送る運動」参加費	90,000 円
※5 人件費:	国内人件費	40,000 円 × 11 ヶ月
	ラオス人件費	43,200 円
※6 事務消耗品費:	ラオス事務局用パソコン	146,880 円
	プリンタインク(日本・ラオス)	25,200 円
	理事名刺	4,200 円
	ボール寄付用空気入れ	4,500 円
		など
※7 印刷製本費:	"じゃっと"新聞印刷代(年 4 回発行)、パンフレット等コピー	
※8 通信費:	"じゃっと"新聞の発送(年 4 回)、NTT 通話料、プロバイダ料	
※9 雑費:	振込手数料、送金受取手数料、レート差額差引額など	

◆2008 年予算事業費の主な内訳

学校保健事業	ラオスの子供たちへの保健衛生知識の普及活動 衛生の絵本、紙芝居の配布等
学校設備充実事業	本年度は・・・ナテ小学校にフェンスを設置 タディンデン小学校に水道設備を設置
研修事業	教師養成カリキュラム内の「保健」講義のリサーチ 教師、村長、校長向け保健セミナーの実施
普及開発事業	スタディツアーに学生を派遣、渡航費を一部補助 SVA「絵本を送る運動」参加費 10 万円 × 2 セット(昨年度より 1 万円値上げ) T シャツ作成(2種類) 今までに作成したモチーフを利用して作成(ラオスで作る)



## 多国籍合宿スタッフ★日高 葵レポート

分科会への参加を呼びかけてくれたのは鹿児島大学2年の日高葵さん。彼女は昨年、じゃっとのスタディツアーに参加し、その経験を学生生活に活かして頑張っています。

写真左が筆者

2007年じゃっとスタディツアーにて  
ツアーに同行したDr.ヴィヴィ(右)と



### ？多国籍合宿とは？

在鹿外国人と日本人が総勢300人ほど集まり、一泊二日を共にして交流し、異文化に対する理解を互いに深めようという目的のもとに行われるものです。2000年から始まったこのイベントは、2008年で8回目となります。プログラムとしては、総合テーマに沿って文化・環境問題など分野別に細かく分けられたグループ毎に学習する『分科会』、民族衣装のファッションショーやいろいろな国の歌やダンスを参加者が披露する『異文化紹介』、多国籍合宿メインスタッフが選んだテーマについて参加者全員で討論する『総合討論』などなど、盛りだくさんの一泊二日です。楽しかった、と参加者の皆様に大好評を頂きました。

### ☆ラオススタディツアーを終えて ～多国籍合宿への挑戦～

7泊8日の濃くて衝撃的なラオスの旅を終えて、ずっと私の胸に残っていたのは、「自分は、『今』何が出来るだろう？」という焦りの気持ちでした。日本とは違う空気や自然、綺麗な目をした子どもたちと出会って、このツアーに何か自分の変化を求めて参加した自分が、浅はかに思えてなりませんでした。結局、いくら自分が変わろうと思っても、それを行動に移さなくては、口先だけの人間にしかなり得ない。ツアーに参加した「後」こそが大切なのだと感じながらも、何も行動に移せていない自分が腹立たしく、悔しい思いで毎日を過ごしていました。そんな私を多国籍合宿に導いてくれたのは、一緒にご飯を食べていた教育学部の友達でした。「葵ちゃん、多国籍合宿のスタッフやらない？絶対向いていると思うよ。」彼女の言葉に二つ返事で承諾した私は、多国籍合宿のメインスタッフとして、参加することとなりました。

### ♪そして月日は流れ・・・現在

まさに怒涛の2ヵ月半。なぜ一日は24時間なのだろうと思いながらパソコンに向かう毎日、本当に密度の濃い毎日を過ごすことが出来ました。私は『異文化紹介』の企画スタッフ担当だったので、様々な国の留学生と友達になることができ、彼らとの会話を通して、自分の知識不足を大いに痛感しました。毎日を何て無駄に過ごしてきたんだろう、と彼らの目を見ながら思いました。英語しか通じない留学生に、ボディランゲージを交えながら必死に異文化紹介への出演を交渉したり、打ち合わせに行き違いが生じて周りの人に迷惑をかけてしまったり、社会人になってから必要とされるスキルを叩き上げられた2ヵ月半であったとはっきり言うことが出来ます。そしてそれは、周囲の見えない支えがあってこそ大切な時間でした。日本とは違う文化に戸惑い「なぜ分かってもらえないのだろう」と、もどかしい思いもしましたが、それでも最後は「協力してくれて本当にありがとう」と、出演者の方々に言うことが出来ました。「分かりたい」「知りたい」「話したい」というwantの気持ちさえあれば、近づくことは簡単に出来る、と、この多国籍合宿という一大イベントは、私に教えてくれました。

(文：日高 葵／鹿児島大学法文学部2年)

## 【事務局たより】

新規会員・ご寄付（2008年4月～2008年7月）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。（以下敬称略）

- 平成 20 年度会費 辛島芳子、北住信子、橋口知章、下尾崎健一、愛甲勝、泊亜希子、古田宣稔、若田吉朗、愛甲明実、田中律子、伊東ひとみ、柴こうこ、瀬戸山弘子、若松裕子、宮脇美智子、南修、南恭子、田中康代、内田耕也、牧田弘子、増岡淳子、帖佐徹、帖佐理子、若松郁子、平山健介、安部良宣、安永健次郎（薩摩川内市）中村安秀、濱田真寛（大阪府）馬場寛利、平石尚子、福田弘子、時村ヨシ、時村誠一、時村睦子（鹿児島市）西睦夫、橋本晴美（福岡県）藤島美由紀、サイヤ キエンペット、森田正人（愛知県）瀬筒勝二（鹿屋市）阿部雅昭、阿部貴美子（東京都）高橋真弓（市来串木野市）山内京子（広島県）
- 平成 21 年度会費 小林キヨ子、（薩摩川内市）
- 平成 23 年度会費 上野昌子（薩摩川内市）
- 平成 24 年度会費 上野昌子（薩摩川内市）
- 寄付金 帖佐理子、上野昌子、瀬戸山弘子（薩摩川内市）（株）ノバルティスファーマ、時村ヨシ、時村誠一、時村睦子（鹿児島市）森田由夫、高野真綾（埼玉県）
- 机、いす募金 4口：帖佐理子（薩摩川内市）  
2口：北住信子（薩摩川内市）森田由夫、高野真綾（埼玉県）  
（株）ジョンソン&ジョンソン伊藤健二郎（鹿児島市）  
1口：濱田真寛（大阪府）上原憲一（出水市）下茂きぬ子、立島ユカイ、立島尚子（薩摩川内市）阿部雅昭、貴美子（東京都）時村ヨシ（鹿児島市）山内京子（広島県）
- 大口寄付 帖佐理子（薩摩川内市）
- 委託販売 Cuir Hair 仮屋洋子  
めん道案内「ギャラリー道楽」竹下美恵子
- 印刷協力 神崎候至（株式会社アクティブ）
- 新聞発送協力 立島尚子（ボランティア）

## 【国内活動】

- 3月10日～31日 ジャつどパネル展 於：宮崎銀行川内支店
- 3月15・16日 薩摩川内市きやんせふるさとフェスタ  
バザー出店（15日／牧田・立島・宮脇・柴山・竹下・砂田；16日／泊・芝・宮脇・帖佐・久木野・竹下・砂田）
- 3月18日 加世田小学校6年生より文房具の寄贈

- 3月20日 ジャつど新聞 50号発行
  - 3月21日 加世田中学校1年生PTA（東さん、松ヶ野さん）来訪、机いす募金寄付  
（事務局：帖佐、古田理事対応）
  - 3月31日 ジャつど雑貨棚卸
- 【2008年度】
- 4月9日 JOCA九州キャラバン隊事務局来訪  
（村方氏、桑山氏、塚田氏）
  - 4月10日 ジャつどパネル展 於：若松記念病院内  
～5月9日
  - 5月1日 ジャつど理事会
  - 5月10日 帖佐理事「ひまわり会」にて講演  
（のむらクリニック・今村病院患者会）  
パネル展示、雑貨販売（泊）
  - 5月17日 第16回ジャつど総会 於：すこやかふれあいプラザ
  - 5月30日 県への事業報告書提出 於：薩摩川内市  
コミュニティ課  
資産総額の変更登記申請 於：法務局川内支局（6月4日 登記完了確認）
  - 6月5日 帖佐理事 鹿児島大学にて講義  
「ボランティア論」
  - 6月12日 帖佐理事 鹿児島大学にて講義  
「国際交流のすすめ」（1回目）
  - 6月14日 鹿児島大学留学生センター主催  
「多国籍合宿」分科会に参加  
（小幡、帖佐、帖佐徹、泊）
  - 6月19日 帖佐理事 鹿児島大学にて講義  
「国際交流のすすめ」（2回目）

## ■ 会費納入のお願い

各会員様の会費納入状況（会費有効期限）は、宛名シール内に記載してあります。どうぞご確認ください。（今年度平成20年度会費の有効期間は、平成20年4月1日～平成21年3月31日です）※ゆうちょ銀行の自動引落しにて会費お支払の方は、支払日＝8月30日となっております。※振込用紙はすでに今年度会費を納入済みの方にも同封してあります。寄付金等のご協力にお使いいただければ幸いです。（ジャつど事務局）  
ジャつどの活動は皆様の会費に支えられています。

机いす募金・寄付金、随時受け付け中です。

郵便局：0250-2-4746 口座名 JADDO

# じゃっと INFORMATION

## ◆帖佐理事の講義が本になりました

帖佐理事は2004年より鹿児島大学の講義「国際交流のすすめ」にてじゃっと活動や国際ボランティアについて話をしています。その講義を、鹿児島大学の志賀美英先生が1冊の本にまとめられました。じゃっと活動のきっかけ、スタート時の苦労やラオスの魅力について多くの写真と共に知ることができます。世界の現状がわかる、とても興味深い内容となっています。国際協力・開発に興味のある方、必読。ご希望の方に実費で頒布します。じゃっと事務局までご連絡ください。(送付希望の方には、送料無料で送ります)



「開発教育序論」  
世界はそして日本はなぜ開発援助を行うか  
志賀美英〔編著〕  
九州大学出版会  
定価：3200円(税別)

## ◆今年も参加します！絵本を届ける運動

シャンティ国際ボランティア会主催「絵本を届ける運動」にじゃっとも協力しています。お礼のハガキがきました。



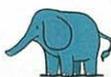
昨年度はラオスに5000冊以上の本が送られました。

♪作業のお手伝い隊募集中♪  
絵本を読んで楽しんだ後、付属のラオス語訳シールを切って貼るだけ！お子様と一緒に、あるいは童心に返って、身近にできるボランティア活動、1冊の絵本から始めてみませんか？【絵本はじゃっと事務局にあります】

## ◆じゃっとスタディツアー2008 お知らせ

**12月25日(木)～12月30日(火)**  
**4泊6日(1機内泊)**

ヴィエンチャン近郊支援校視察予定ほか(詳細は未定)  
参加ご希望の方は、事務局までご連絡ください(10月末締切)  
★今年度も「学生枠」の募集を行います。薩摩川内市在住の高校生以上の学生、又は鹿児島県在住の大学生・専門学校生の方には旅費の一部をじゃっとが援助します。(書類面接選考あり・詳細は事務局までお問い合わせください)



ラオスは今年、New York Times が選ぶ  
2008年53の行くべき場所、第1位☆に輝きました！

編集後記

- G8洞爺湖サミットで、豪華なディナーを食べながら食糧問題を論議する。自分たちも、物あまり&贅沢な暮らしになれっのかな！！(K.K)
- 定期総会も終わり、本年度スタートとなりました。本年度は、少しでも会員の皆様の参加できるような催し物を計画できたらと思っております。(M.M)
- ミニクイズの答え 右手で頭の上から左耳をつかんでみてください。(左手で右耳でも可)大人には簡単ですが、4、5歳くらいの子供には難しい。これが就学適齢期の見分け方だそうです。データも道具も不要の賢いやり方だと思いませんか？はやく学校に行きたくて、手を伸ばす子供たちの姿が思い浮かびました(T)

## ◆薩摩川内市ぎおん祭り

**7月19日(土)18時～22時**  
**薩摩川内市 向田児童公園にて**  
じゃっともバザー一店いたします。

オリジナルTシャツほか、夏にぴったりのアジア雑貨を販売します。夕涼みもかねて、ぜひ遊びに来てください♪

※販売のお手伝いをしてくださる方も  
随時募集しています！



次回じゃっと新聞は「上半期活動報告」号、2008年11月の発行予定です。お楽しみに！